

下水道管理システムの 整備・一般公開

C班：岩手県北上市

埼玉県伊奈町 滋賀県湖南市

岡山県岡山市 大分県佐伯市

現状の課題は？

下水道台帳の一般公開が進まない

原因

- ・ 下水道台帳をシステム化できていない自治体がある。
- ・ システム化するため、HP等で公開するためのシステム改良費などの予算不足
- ・ 施設等データの正確性が担保できない

20年後に求められる下水道管理システムは…

47都道府県統一の 下水道管理システム

こんなシステムだとみんなHAPPY！？

HPで
一般公開

AI（人工
知能）
の活用

自治体間
の
情報共有

20年後の下水道管理システムによるメリット

住民のメリット

- ・引越先でも同一のシステムで情報を得られる
- ・AIの活用により、業者に相談しなくても、下水道接続、修繕の工事費用などが予測できるようになる
- ・セキュリティ対策(情報漏洩を防ぎ安心感)

業者のメリット

- ・排水設備工事申請を電子申請で行うことができる
- ・業者向けに工事の注意点などが地図上でわかる

20年後の下水道管理システムによるメリット

自治体のメリット

- ・ 様々な情報を蓄積することで将来予測がしやすくなる。
- ・ 事例への他都市の対応方法などをシステム上で共有できる
- ・ 現場のデータを即時収集できる
- ・ 災害時、破損箇所等データを共有できる
- ・ 専門的な職員が減少しても災害対策・予測ができる

社会的なメリット

- ・ 大学等を巻き込むことで教育・研究分野として確立する